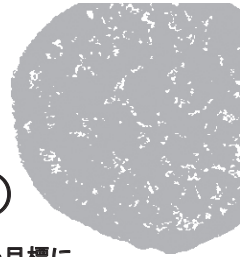


取組事例

1 市町村の事例

(4) ボランティア活動に関すること



読み聞かせボランティア養成講座（実践編）

今年度は、ボランティアさんが実際に保育園や小学校に出向いておはなし会等を行うことを目標に

通常のボランティア養成講座に加え、下記のとおり実践向けの講座を開催します。

初心者の方も、ベテランの方も、ふるってご参加ください！

| 回 | 期日・会場 | 講師 | 内容 | 申込 |
|---|--|--|---|--|
| 1 | 11月20日（水） 13:30～15:00 2階 講堂 | 佐藤 あけみ 氏 (JPIC 読書アドバイザー) | 「読み聞かせとは何か」 読み聞かせの入門編。初心者の方に。 絵本の魅力を含め、総合的にお話を伺います。 定員：180名（先着） | 11月6日（水）～ 当館窓口・電話・HPで受付 |
| 2 | 11月26日（火） 13:00～14:30 2階 講堂 | 根岸 貴子 氏 (子どもの本研究所) | 「読み聞かせの本を選ぶ」 保育園や学校等での読み聞かせの基本を学びます。 定員：180名（先着） | |
| 3 | 12月 3日（火） 13:30～15:30 2階 美術センター | 近藤 信子 氏 (NHK 教育テレビ日本語で あそぼう！わらべうたコー ナー監修) | 「なぜ わらべうたなのか」 いっしょに歌ったりしながら、 わらべうたの大切さを考えましょう。 定員：50名（先着） | 11月6日（水）～ 当館窓口・電話で受付 |
| 4 | ① 12月14日（土） 9:30～12:00 ② 12月21日（土） 13:30～16:30 ①②とも2階 講座室1 | 野上 千恵子 氏 (新潟子どもの本を 読む会) | 2回連続講座 ●経験者のみ● 「おはなし会を より豊かに より楽しく」 ～子どもたちと本をつなぐ、子どもたちと本でつながる～ 定員：15名（先着）※ 【1日目】講義と実習：本を選ぶ・プログラムを組む 【2日目】実習：プログラムを組む・おはなし会の実演 | 11月6日（水）～ 当館窓口・電話で受付 申込期限：11月20日（水） ※受講者には事前にアンケート をとらせていただきます。 提出期限：11月30日（土） |

◆対象：高校生以上 ◆参加無料 ◆1～3の講座は1回のみ受講も可能です。◆会場はすべて長岡市立中央図書館
※4の講座は、2回連続で受講ができる方、読み聞かせ経験者に限らせていただきます。

また、来年1月以降、保育園・学校等で実際に読み聞かせ等を行っていただくことを前提に受講していただきます。


講座4を受講した方は・・・（希望制）

先進地視察

●行き先：新潟市方面
(予定)NIC木戸絵本館、
新潟市立中央図書館ほんぽーと

●期 日：平成26年1月29日（水）


●参加費：無料 昼食代のみ自己負担



1月以降

保育園や学校での

実践にチャレンジ!





いきいき県民カレッジ登録講座

【お問い合わせ・お申込】長岡市立中央図書館

本講座は、文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」
及び、新潟県「子ども読書ボランティア読書イベントパッケージ化事業」の受託事業です。

TEL. 0258-32-0658 長岡市学校町 1-2-2 〒940-0041
<http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

事業名

新潟県地域の絆づくり・教育力向上支援モデル事業
「読み聞かせボランティア スタート!!講座」

目的

読み聞かせボランティアを養成することによって、既存のグループの活性化や新規グループの発足を図り、絵本の読み聞かせを通じて、地域の教育力向上をめざす。

実施主体

十日町市中央公民館・十日町情報館

参加対象

読み聞かせボランティアの活動を志す成人

参加者数

12人

回数

5回

日数

5日間

時間

10時間

場所

十日町情報館（図書館）第1集会室 ※第4回の実習以外

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|------------------------------------|--|--|
| 1 | 11月2日(土) 9:30~11:30 | 子どもに絵本と読み聞かせが大切なワケ | 新潟大学教育学部 非常勤講師 錦恵美子さん |
| | 内容・方法 | ・講師からご自身の実践をもとに、子どもたちの成長にとっての絵本や読み聞かせ重要性を講義してもらった。 | |
| 2 | 11月9日(土) 9:30~11:30 | ここがポイント!絵本を見る眼、選ぶ眼 | 地元読み聞かせボランティア 千保木美代子さん 春日克美さん 春日みどりさん |
| | 内容・方法 | ・地元で活躍する読み聞かせボランティア3人から0~2歳、3~6歳、7歳以上の3区分で絵本を選ぶ視点とおすすめの絵本について語ってもらった。 ・後半は、参加者を3グループに分けて、3人の講師が各グループに入り、絵本の選び方やお気に入りの絵本について話し合い・意見交換を行った。 | |
| 3 | 11月16日(土) 9:30~11:30 | 子どもの心をひきつける読み聞かせのコツ | 地元読み聞かせボランティア 千保木美代子さん 富井朝子さん 江村かおるさん |
| | 内容・方法 | ・地元で活躍する読み聞かせボランティア3人から、おはなし会などの場で実際に読み聞かせを行う技術的なコツや心構えなどについて実演も交えて解説してもらった。 ・後半は、参加者を3グループに分けて、参加者がグループ内で読み聞かせの実演を行い、講師からアドバイスをしてもらった。 | |
| 4 | 11月16日(土)~ 12月13日(金)の いずれか1日 | さあ、いよいよおはなし会デビュー! | 地元読み聞かせボランティア |
| | 内容・方法 | ・第3回から第5回の間、参加者それぞれが都合のつく日に既存のおはなし会で、実際に子どもたちを前にしての読み聞かせの実習を行った。 ・実習の受け入れ先は公民館職員と情報館職員がコーディネートし、実習した結果は、参加者に配布した報告用紙に記録して後日提出してもらった。 | |

| | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|-------------------------|---|-----------------------|
| | 12月14日（土） 9:30～11:30 | 子どもたちに向けて絵本にこめる作家の思い | 絵本作家・アーティスト 田島征三さん |
| 5 | 内容・方法 | ・大地の芸術祭で当市と縁の深い絵本作家・田島征三さんから、作家がどのような思いを込めて絵本を作っているか、絵本を通して子どもたちに何を伝えたいか、語ってもらった。 | |

成 果

- ・講座を企画する段階で、地元の読み聞かせボランティアグループと内容について協議・意見交換したので、講師の依頼や実習先としての受入れなどの協力が円滑だった。
- ・講座の中に実技や実習を組み込んだこともあり、参加者が読み聞かせボランティアとして活動していこうという意欲を高めることができ、講座終了後に早速既存のグループに入会する人が現れた。

課 題

- ・初回の講師の人選・日程調整に手間取り、第1回から第3回が3週連続というタイトなスケジュールになったため、参加したくてもできなかった人もいたと思われる。

問合せ先

十日町市中央公民館（担当：小川清貴） TEL:025-757-5011

絵本を楽しむ子どもたちの笑顔が
あなたの新しい生きがいになる!!

平成25年度とおかまち市民楽校

読み聞かせボランティア スタート!!講座



市内では、情報館や公民館、小学校など様々なところで絵本の読み聞かせやおはなし会が行われています。

あなたもそうした活動に参加し、子どもたちを笑顔にしてみませんか？

この講座を受けて、読み聞かせボランティアとしての活動をスタートしましょう！



これから読み聞かせボランティアをしてみたい人なら誰でも受講できます！
先着20名まで！

ステップ
1

11月2日(土) 午前9時30分～11時30分
「子どもに絵本と読み聞かせが大切なワケ」
講師：錦恵美子さん(新潟大学教育学部非常勤講師)

ステップ
2

11月9日(土) 午前9時30分～11時30分
「ここがポイント！絵本を見る眼、選ぶ眼」
講師：地元読み聞かせボランティアの皆さん

ステップ
3

11月16日(土) 午前9時30分～11時30分
「子どもの心をひきつける読み聞かせのコツ」
講師：地元読み聞かせボランティアの皆さん

ステップ
4

11月16日(土)～12月13日(金のいずれか1日)
「さあ、いよいよおはなし会デビュー！」
※期間中に行われているおはなし会で実習をします。

ステップ
5

12月14日(土) 午前9時30分～11時30分
「子どもたちに向けて絵本にこめる作家の思い」
講師：田島征三さん(絵本作家・アーティスト)

会場 十日町情報館(西本町2)

申込先 十日町市中央公民館(☎025-757-5011 FAX025-757-5010)

受講料
無料!

主催：十日町市中央公民館・十日町情報館

イラスト提供：WANPUG

事業名

平成25年度新潟県地域の絆づくり・教育力向上支援モデル事業
つばめBOOKサポーター育成講座

目的

一体感を持ち、市内の読書・読み聞かせ活動の充実を図る目的で各読み聞かせ団体の会員を拡充する。多くの人に読み聞かせ活動について知ってもらう。

実施主体

燕市教育委員会 生涯学習課、 つばめBOOKサポーター実行委員会

参加対象

市民、市内読み聞かせ団体、
学校支援ボランティア

参加者数

延べ690人

回数

2回

日数

2日

時間

延べ5時間

場所

燕市文化会館、 燕市児童研修館こどもの森

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|-------------------------|--|---|
| 1 | 6/8 (土) 13:30-15:30 | 谷川俊太郎&立見迪子 対談講演会 「ことばの持つちから・絵本の持つちから」 | ・谷川俊太郎 様 (詩人) ・立見 迪子 様 (ギャリ-mu-an 主宰) |
| | 内容・方法 | 詩人・谷川俊太郎さんと絵本や読み聞かせ活動についての対談講演会を行った。詩や絵本が持つ言葉や読み聞かせ活動の大切さを多くの方に伝え考えてもらう講演会を行った。市内で活動する読み聞かせボランティアの活動なども紹介した。 (参加者 620名) | |
| 2 | 7/13 (土) 13:30-16:00 | 読書フォーラム 「子どもたちにおはなしを届けるということは…」 (基調講演と実践発表) | ・関崎 智弥 様 (こどもの森館長) ・読み聞かせ団体 |
| | 内容・方法 | 現在、読み聞かせ活動をしているボランティアとこれから読み聞かせボランティアをしてみたいと考えている人のため講演会を行った。また4団体から読み聞かせの実践発表を行い、交流を図った。 (参加者 70名) | |

成果

- ・各回ともに読み聞かせボランティアの活動紹介のリーフレットを作成し、多くの方に団体活動の内容を理解してもらい、絵本や読み聞かせ活動のすばらしさを知ってもらうことができた。
- ・2つの大きなイベントの開催にするにあたり、実行委員会を立ち上げ、打合せ等を繰り返し、読み聞かせ団体間の絆が深まった。

課題

- ・参加者アンケートをみると、読み聞かせボランティア活動には理解してもらえたが、仕事等により入会された方は少なく、新加入は3名であった。今後、会員拡充の新しい方法の検討が必要である。
- ・新潟県地域の絆づくり・教育力向上支援モデル事業として2年間活動してきたが、補助事業がなくなっても市内の読み聞かせ団体の交流の活動として継続していきたい。

問合せ先

燕市教育委員会生涯学習課 (担当: 生涯学習推進係 酒井 和裕) TEL: 0256-63-7001



入場無料

※入場整理券が必要です

© 深堀瑞穂

谷川俊太郎 & 立見迪子



対 談 講 演 会

『ことばの持つちから・絵本の持つちから』

6月8日(土)

時間： 午後1:30～午後3:30

(開場：午後1:00)

会場： 燕市文化会館 大ホール

定員： 680人

※5月10日(金)から下記の場所にて入場整理券を
配布します。

【配布場所】

燕市中央公民館・吉田公民館・分水公民館
燕市立図書館

内容： スライドを用いた絵本の
読み聞かせ、小学5・6年
生以上向けの対談による
講演、質疑応答

その他： 手話通訳・要約筆記あり

※保育ルームあります。(実費負担)
事前予約が必要です。くわしくは裏面をご覧ください。

主 催： 燕 市

問い合わせ： 燕市中央公民館

TEL 0256-63-7001

(新潟県地域の絆づくり・教育力向上支援モデル事業)

事業名

〔 図書館読み聞かせボランティア養成講座 〕

目的

燕市立3図書館で読み聞かせを行うボランティアを育成する

実施主体

燕市立図書館

参加対象

読み聞かせボランティア

参加者数

延べ27名

回数

3回

日数

3日

時間

延べ6時間

場所

分水公民館2階研修室

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|-------------------------|--|-------------------------------|
| 1 | 6月24日(月) 10:00~12:00 | 絵本の力とその魔法 | 『小さな絵本館サバト』 前代表 西川 暁子 様 |
| | 内容 ・ 方法 | 絵本の読み方・選び方 ・ 名作と呼ばれる絵本の紹介 読みきかせ会の雰囲気づくりについて | |
| 2 | 7月1日(月) 10:00~12:00 | 絵本を読むというボランティア活動 | 『小さな絵本館サバト』 前代表 西川 暁子 様 |
| | 内容 ・ 方法 | 読みきかせの意味・定義・事例など 受講生による絵本の紹介 講師の批評 実践その1 | |
| 3 | 7月8日(月) 10:00~12:00 | さあ、一緒に読みましょう | 『小さな絵本館サバト』 前代表 西川 暁子 様 |
| | 内容 ・ 方法 | 受講生による絵本の紹介・講師の批評 実践その2 まとめ | |

成果

- ・ 読み聞かせの基本的な考え方やテクニックを教わった。

課題

- ・ 募集期間が短かったため、一般の受講生があまり集まらなかった。
その後のボランティア活動へ容易につながる方法の工夫が必要と思った。

問合せ先

燕市立図書館 (担当: 金谷精司 燕市立図書館 0256-62-2726)

読み聞かせボランティア ☆養成講座☆

子どもたちをお話の世界へ誘う魔法使いになってみませんか？
絵本やお話に関心をお持ちの方、ボランティア活動に興味のある方、
ぜひこの機会に講座を受講してください。ご参加お待ちしております!!

★ とき 6月24日(月) }
7月1日(月) } 全3回 午前10時～12時
7月8日(月) } (全日程受講できる方)

★ ところ 分水公民館 2階会議室



★ 対象 絵本やお話に興味があり、これから読み聞かせ活動を
してみたいと思っている方。
※以前に読み聞かせ講座を受講したことのない方で、
修了後、図書館ボランティアとして協力して
いただける方。

★ 定員 10名(定員になり次第締切)

★ 講師 西川 暁子(さいかわ あきこ) さん
(柏崎市・『小さな絵本館サバト』 前代表)

★ 申込み 6月15日(土)より市内3図書館のカウンターまたは電話
で受付 休館日は受付できません

| | | |
|----------|-------|-------------------|
| ○ 申込先 | 燕図書館 | TEL (0256)62-2726 |
| | 分水図書館 | TEL (0256)91-3255 |
| ○ 申込・問合せ | 吉田図書館 | TEL (0256)92-7650 |

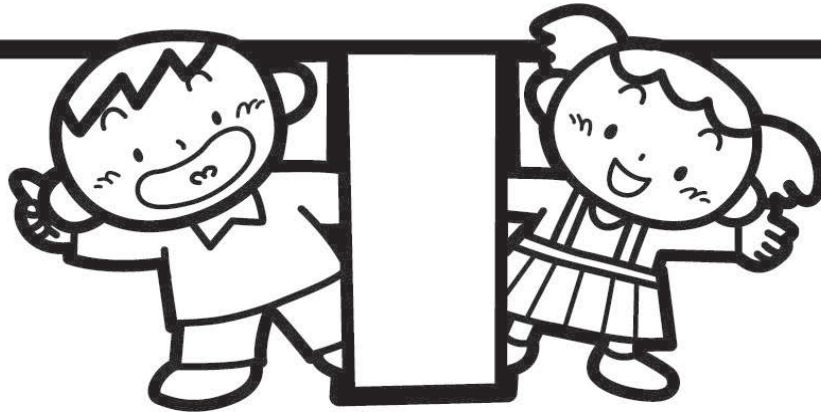
講座内容

6月24日(月) 絵本の力とその魔法

7月1日(月) 絵本を読むという

ボランティア活動

7月8日(月) さあ、一緒に読みましょう



その他、各図書館で
いろいろなおはなし
会があります。

★ 燕市 3 図書館の活動内容 ★

- ◆ブックバス (園児を図書館に迎えて読み聞かせ) ※月1~2回
- ◆ブックスタート (赤ちゃんへの読み聞かせ) ※月1回
- ◆毎月1回の勉強会
- ◆行事の打ち合わせ等の例会 ※随時

事業名

〔 地域観光の「担い手育成支援事業」 〕

目的

小学校の児童（6年生を対象）に関川村の魅力の新発見・再認識してもらい、郷土愛を育み、生まれ育った関川村を、村外の人はもちろん、村内の人に対しても積極的に情報発信して課題を克服することを目的とする。

実施主体

関川村教育委員会教育課

参加対象

関川小学校6年生児童

参加者数

49人

回数

5回

日数

5日

時間

延べ17時間

場所

関川小学校、渡邊邸、東桂苑、せきかわ歴史とみちの館

内容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|--|--|----------------|
| 1 | 平成25年8月1日（木） 8時30分～15時30分 平成25年9月11日（水） 10時00分～11時30分 平成25年9月18日（水） 10時00分～11時30分 | 郷土学習会（3回） | 教育課職員 知識経験者 |
| | 内容・方法 | 小学校6年生児童を対象に、村の歴史や文化財等の説明を受けて学んで、村内の観光施設や村内指定文化財の現地を何箇所か回る学習会。 | |
| 2 | 平成25年10月17日（木） 13時30分～15時00分 | コミュニケーション講座（1回） | 伊勢みずほ 様 |
| | 内容・方法 | 観光ボランティアガイドをするにあたり、県内のアナウンサーを講師に来てもらい、経験談をもとに、話すことと伝えることの違いについての講話をしてもらい、相手を意識した伝え方ができるよう学ぶ。 | |
| 3 | 平成25年10月27日（日） 8時30分～12時00分 | 観光ボランティアガイド（1回） | |
| | 内容・方法 | 郷土学習会、コミュニケーション講座で習ったことを実践する場で、村のイベント「堀と柳の秋まつり」時に、3か所で観光客を相手にガイドを行う。 | |

成果

・生まれ育った関川村の過去や今のことについて、児童一人ひとりに関川村の魅力を認識してもらうことが出来た。

課題

・この取り組みは中学校生徒に繋がっていない。単発的な活動となっている。

問合せ先

関川村教育委員会 教育課（担当：小池 毅） TEL0254-64-2134